

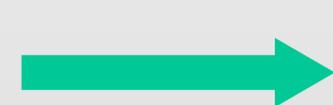
決算説明資料

2Q FY2025

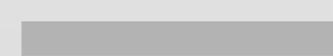


株式会社スカラ 2025年 2月 14日

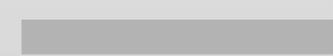
CONTENTS



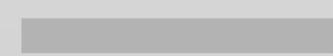
エグゼクティブサマリー



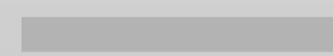
スカラグループについて



連結 業績報告



セグメント別 業績報告



トピックス

2Qエグゼクティブサマリー

※連結業績の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

※営業利益・親会社の所有者に帰属する中間利益は本社費配賦・全社費用等を含む

2025年6月期 2Q累計連結業績

売上収益は4,803百万円となり、前年同期比較で+181百万円(+3.9%)と同水準で推移しました。営業利益は264百万円となり、事業構造改革および各事業の順調な進捗により、前年同期比較で**+427百万円の黒字化を実現**しました。
親会社の所有者に帰属する中間利益は353百万円となり、前年同期比較で**+599百万円の黒字化を実現**しました。(うち+284百万円は株式会社Retoolの株式譲渡による効果。)

事業進捗

DX事業

スカラコミュニケーションズで大型案件を納品。
エッグのふるさと納税事業が計画値を超えて伸長。

人材事業

アスリートプランニングのイベント事業が好調。

EC事業

スカラプレイスで各種タイトルが順調に推移。

事業構造改革

- 事業構造改革は約70%の進捗となり期中での完了を目指す。
- 株式会社Retoolの株式譲渡による当期利益改善効果は+284百万円。
- 役員報酬の減額を実施。

CONTENTS

— エグゼクティブサマリー

→ スカラグループについて

— 連結 業績報告

— セグメント別 業績報告

— トピックス

会社概要

会社名	株式会社スカラ(東証プライム証券コード:4845)
所在地	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ32F
設立年月日	1991年12月11日
事業内容	DX事業／人材事業／EC事業／ 金融事業／インキュベーション事業
従業員	428名(2024年12月末時点 連結)
平均年齢	36.4歳
拠点	東京、大阪、愛知、鳥取、沖縄
資本金	1,794百万円
決算期	6月30日

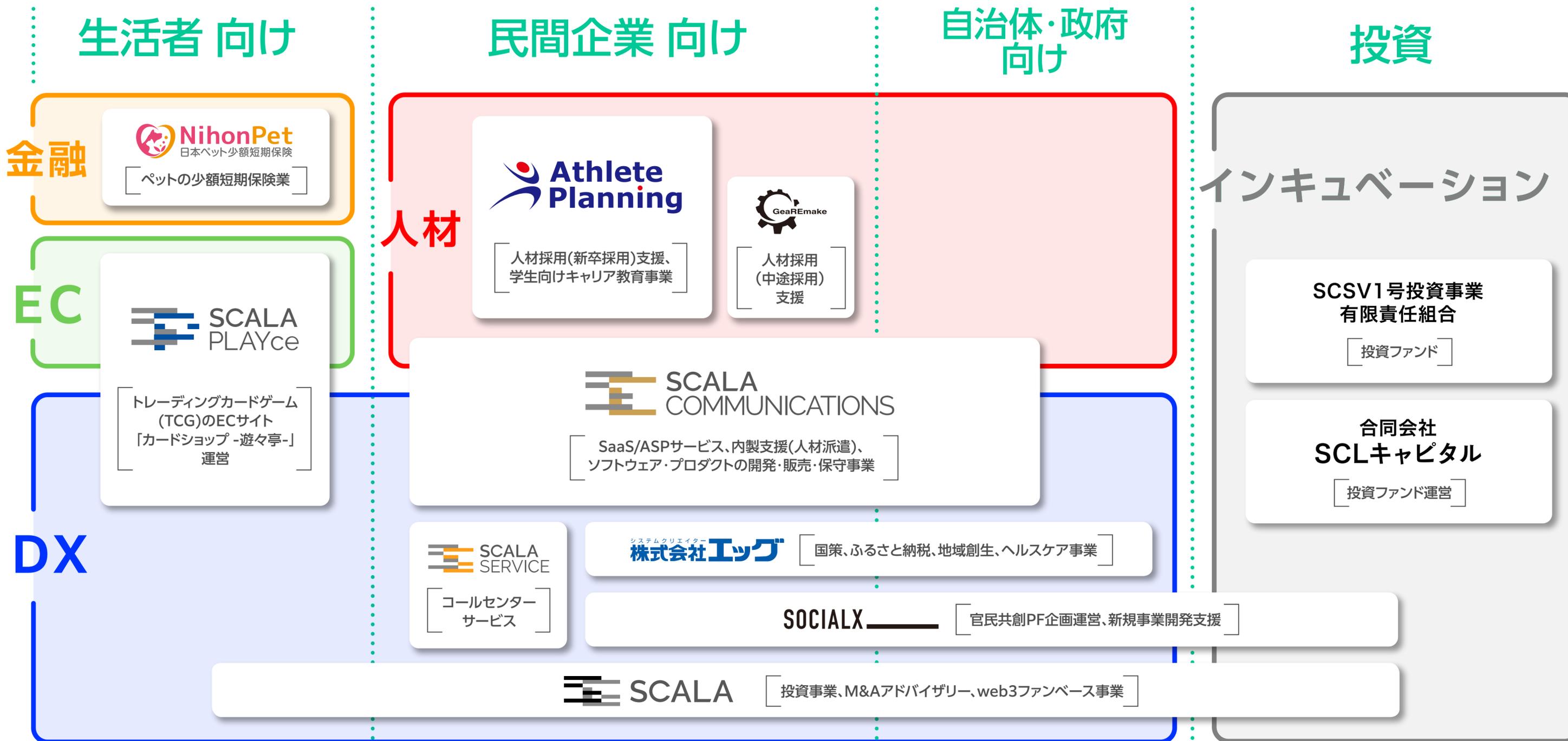


事業構成

2024年12月末時点

DX事業	 SCALA COMMUNICATIONS	株式会社スカラコミュニケーションズ	SaaS/ASPサービス関連事業、ソフトウェア・プロダクトの開発・販売・保守
	 システムクリエイター 株式会社エッグ	株式会社エッグ	国策事業、ふるさと納税事業、ヘルスケア事業、地域創生事業
	 SCALA SERVICE	株式会社スカラサービス	コールセンターサービス
人材事業	 Athlete Planning	株式会社アスリートプランニング	人材採用(新卒採用)支援、学生向けキャリア教育事業
	 GeaREmake	株式会社GeaREmake	人材採用(中途採用)支援
EC事業	 SCALA PLAYce	株式会社スカラプレイス	トレーディングカードゲーム(TCG)のECサイト「カードショップ -遊々亭-」運営
金融事業	 NihonPet 日本ペット少額短期保険	日本ペット少額短期保険株式会社	ペットの少額短期保険業
インキュベーション事業	 SCALA	株式会社スカラ	子会社事業管理、戦略投資事業
	SOCIALX	株式会社ソーシャル・エックス	官民共創プラットフォーム「逆プロポ」の企画運営、社会課題の解決を目的とした新規事業開発支援
	合同会社 SCLキャピタル	合同会社SCLキャピタル	投資ファンド運営
	SCSV1号投資事業 有限責任組合	SCSV1号投資事業有限責任組合	投資ファンド

事業領域



CONTENTS

— エグゼクティブサマリー

— スカラグループについて

→ 連結 業績報告

— セグメント別 業績報告

— トピックス

2Q決算サマリー

単位：百万円

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績
 ※営業利益は本社費配賦・全社費用等を含む

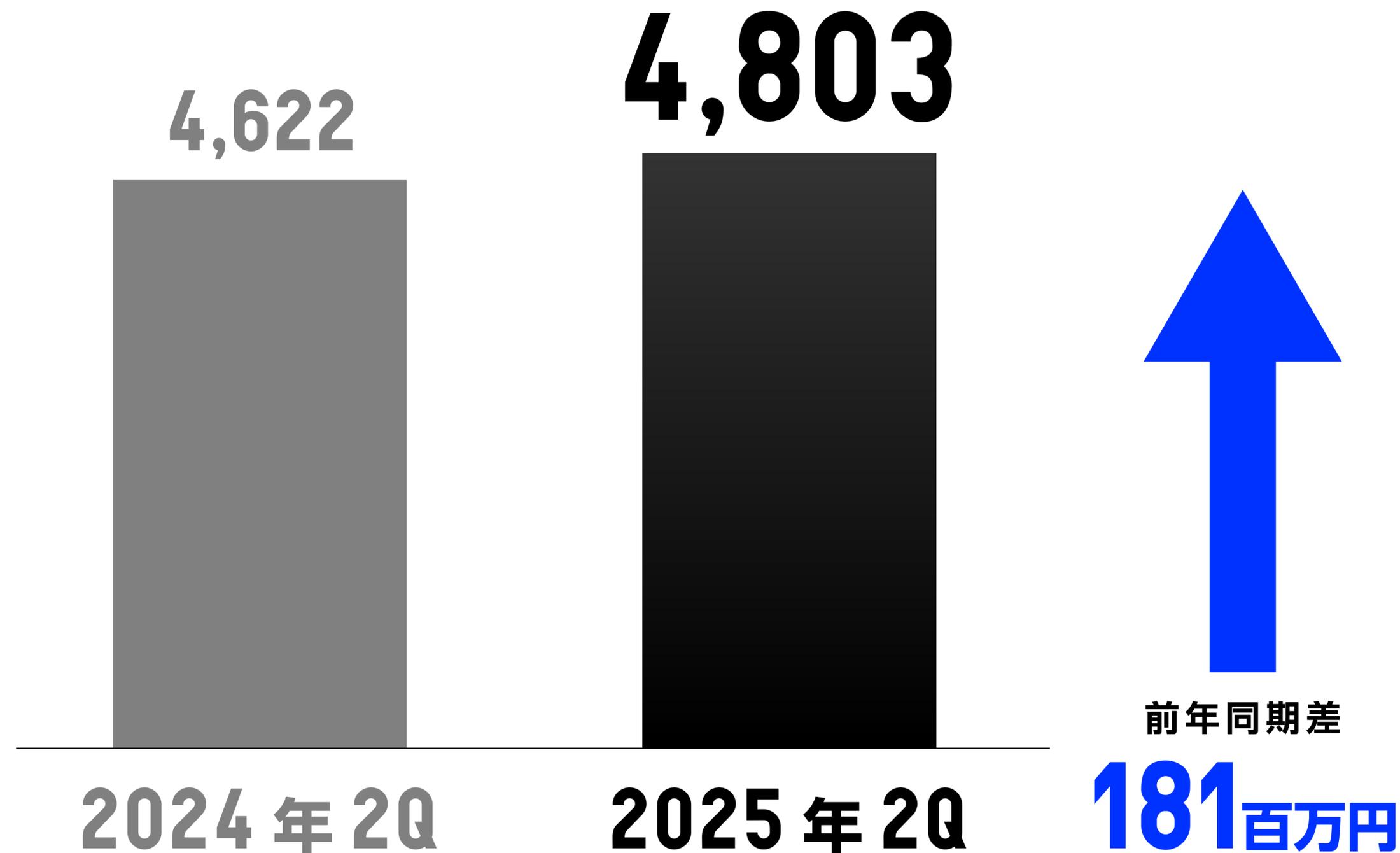
	通期予想	今期2Q実績	前期2Q実績	前年同期比	
2025年6月期 第2四半期実績	売上 10,100 営利 550	売上 4,803 営利 264	売上 4,622 営利 ▲162	3.9% —	↑ 売上収益は前年同期と同水準 事業構造改革の効果により営業利益が改善 役員報酬削減
DX事業	売上 5,000 営利 465	売上 2,479 営利 432	売上 2,264 営利 ▲106	9.5% —	↑ スカラコミュニケーションズ、エッグの業績が順調 事業構造改革の効果により営業利益が大幅に黒字化 Retoolが連結対象外となり非継続事業へ
人材事業	売上 1,213 営利 247	売上 453 営利 47	売上 487 営利 129	▲6.8% ▲63.4%	↓ イベント事業が好調となるも1Qの遅れを取り戻す状況 累計実績は計画通りに進捗
EC事業	売上 2,515 営利 377	売上 1,128 営利 157	売上 1,138 営利 147	▲0.9% 6.5%	↑ 年末にかけて各種タイトルで昨年と同水準に伸長
金融事業	売上 1,077 営利 ▲170	売上 624 営利 ▲89	売上 606 営利 ▲126	2.9% —	↑ 新商品の売れ行きが好調となり売上収益が増加 保有契約件数における新商品の割合が増加し 収益性が改善中
インキュベーション事業	売上 347 営利 ▲55	売上 116 営利 ▲84	売上 123 営利 ▲127	▲6.0% —	↑ ソーシャル・エックスの案件受注が好調 他赤字事業はコストコントロールにより赤字幅を縮小

連結業績

コメント

DX事業が特に順調に伸長し
売上収益は前期比で増加

売上収益 単位：百万円



※売上収益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

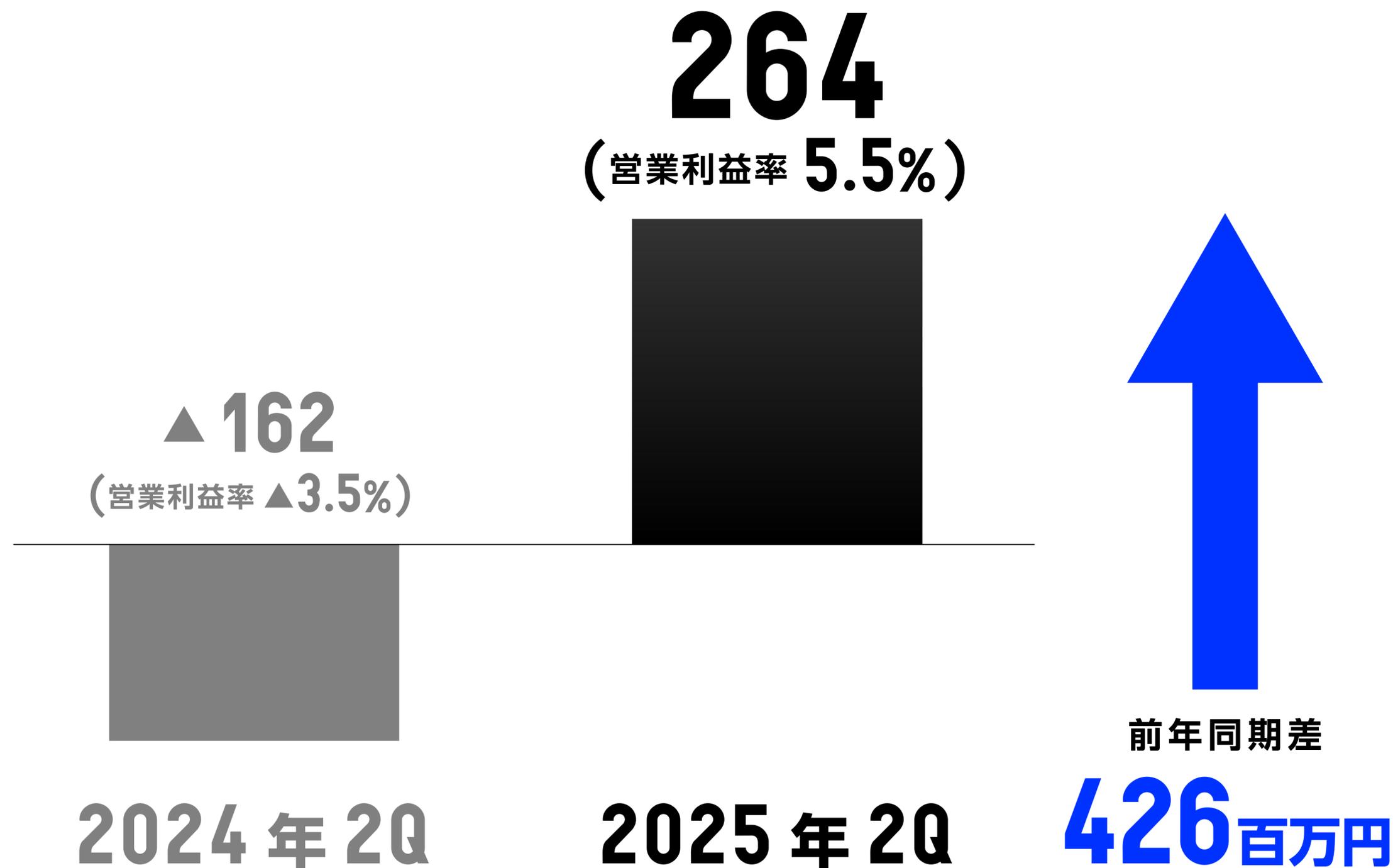
連結業績

コメント

事業構造改革の進捗により
営業利益率が9.0pt改善し
大幅な黒字化

通期で計画通りの黒字化を
目指す

営業利益 単位：百万円



※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

四半期別 連結業績予想 および実績

コメント

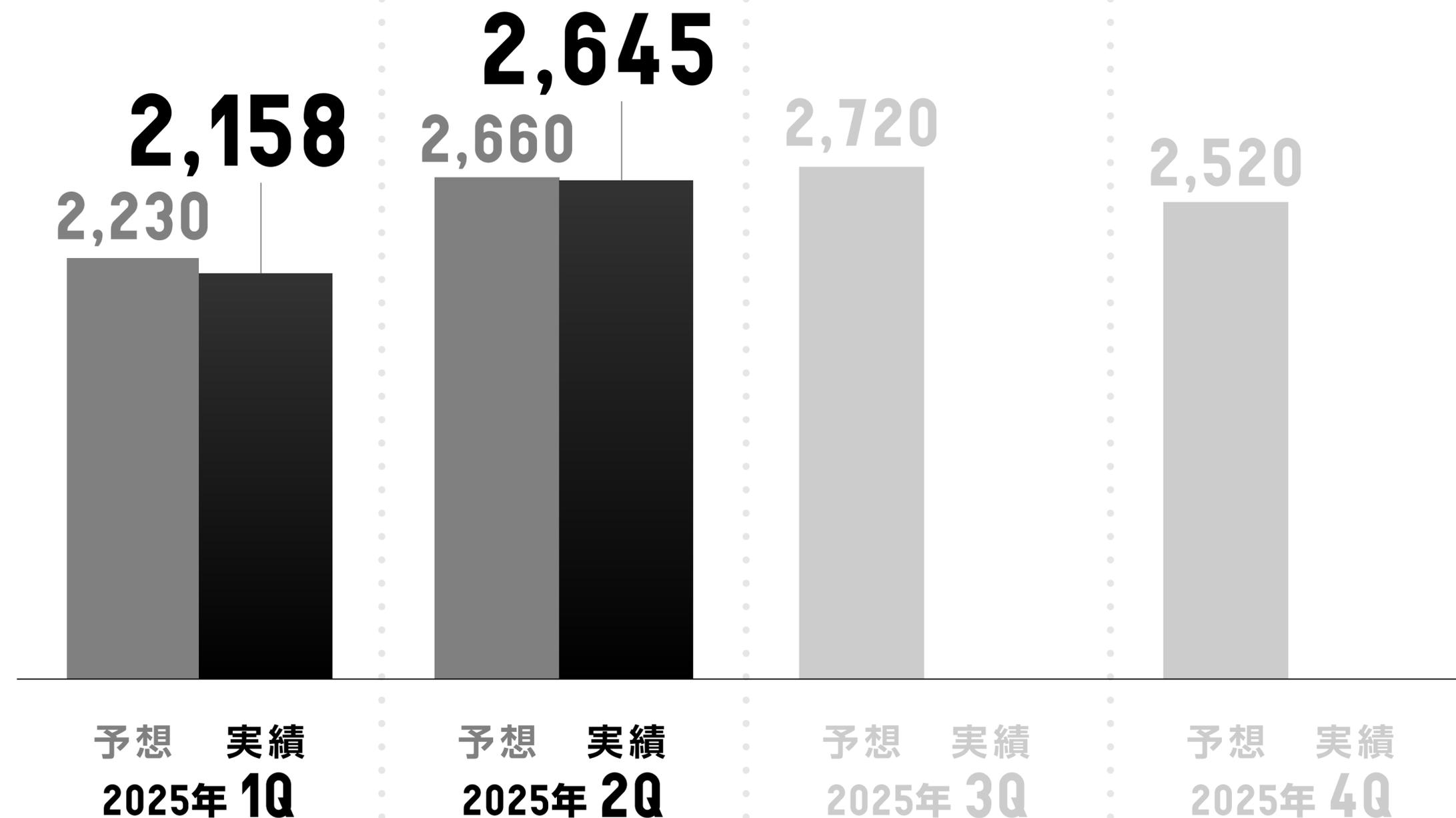
Retoolの非継続化に伴い
1Q売上が1Q開示時点から
減少

2Q累計は計画通り進捗

売上収益 単位：百万円

達成率 **96.8%**

達成率 **99.4%**



※売上収益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

四半期別 連結業績予想 および実績

コメント

コア事業は計画通りに進捗

Retoolの非継続化に伴い
1Q営業利益が1Q開示時点から
増加

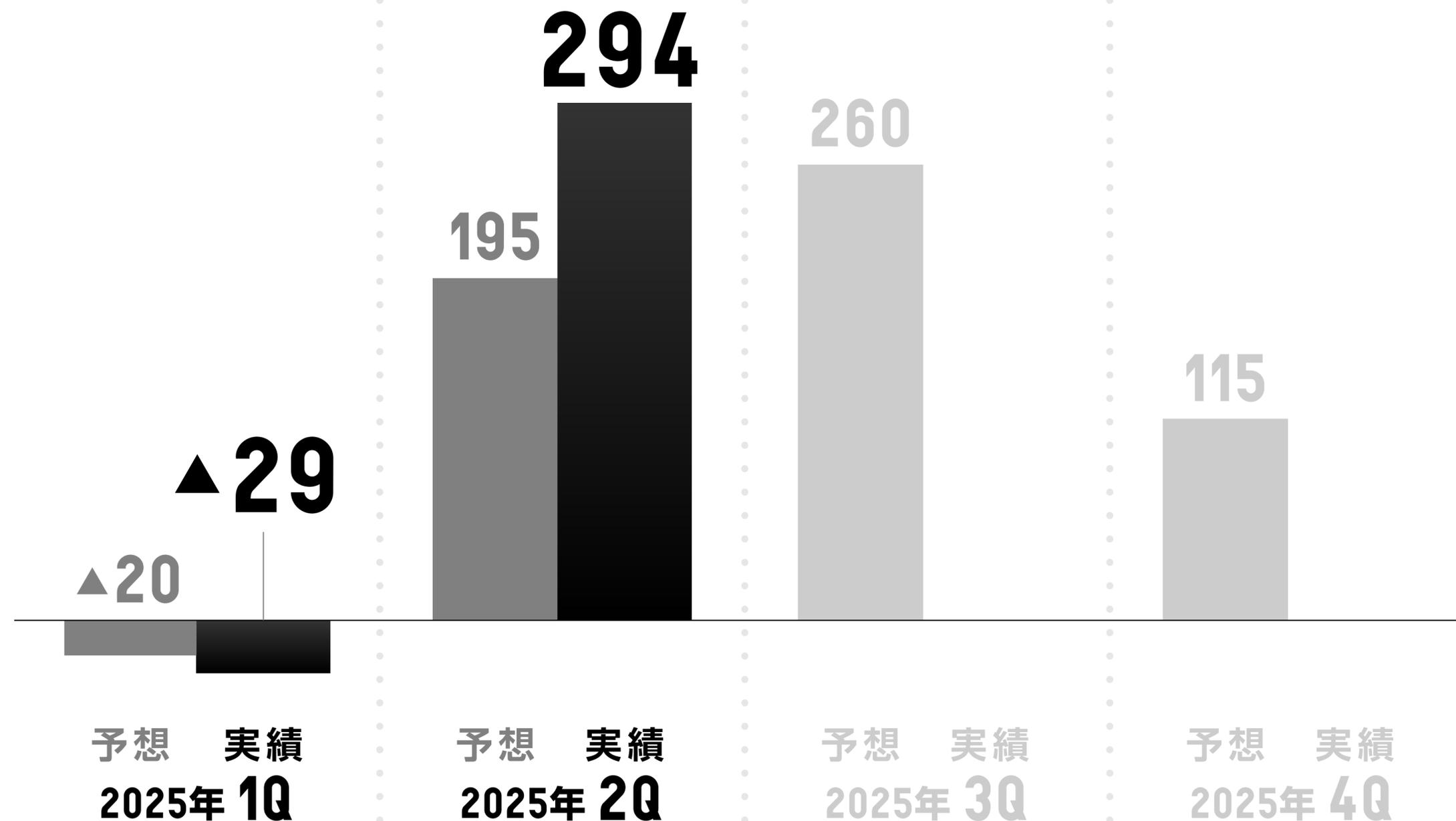
次ページにセグメント別の内訳
を記載

営業利益 単位：百万円

達成率



達成率 **150.8%**



※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

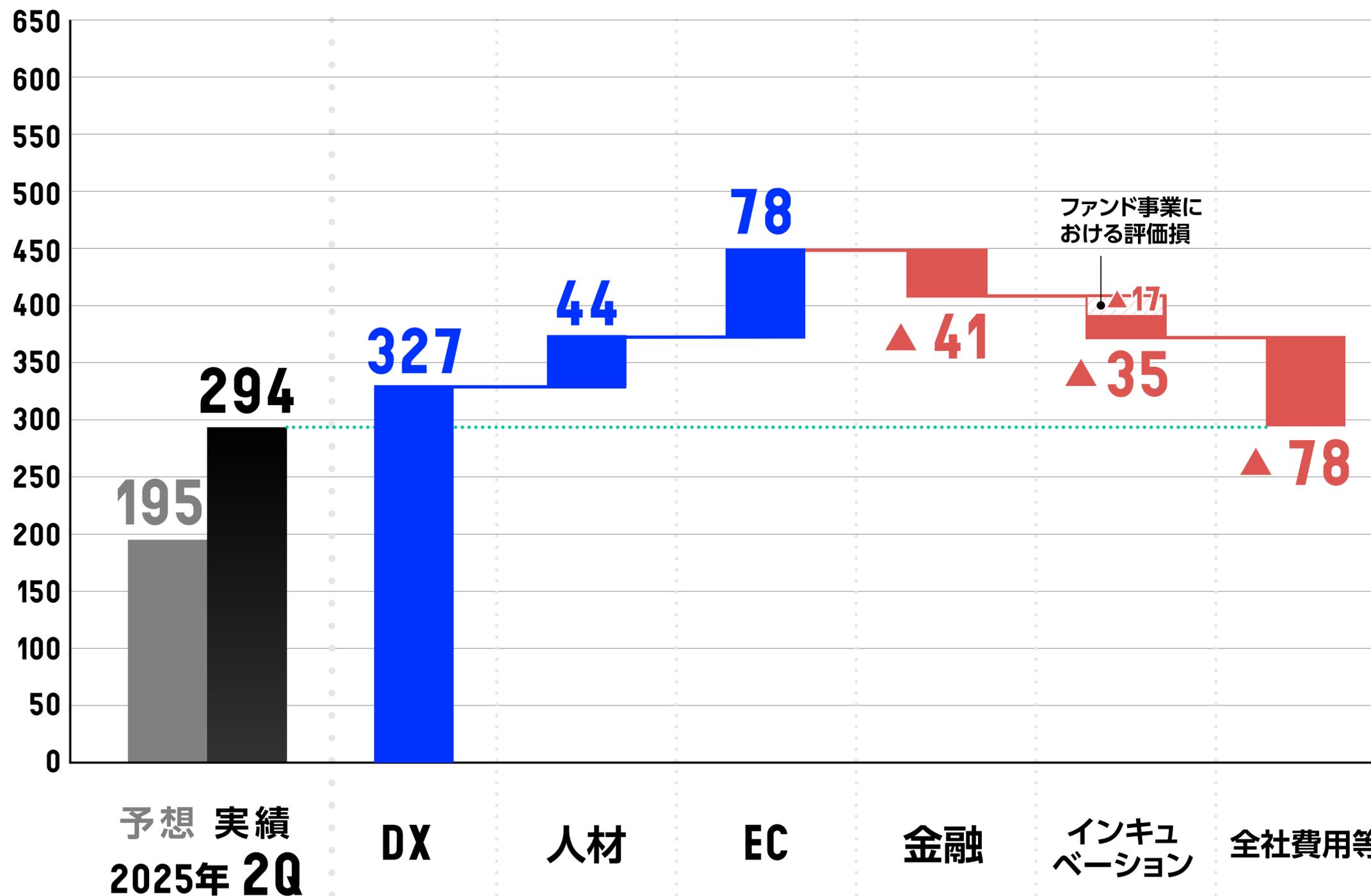
連結業績および セグメント業績

コメント

DX事業が特に順調に進捗

事業構造改革の効果により
全社費用等が縮小し連結業績
の改善に寄与

2Q 会計期間 営業利益 単位：百万円



※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期会計期間実績実績

※連結業績・セグメント業績は百万円以下切り捨て

連結業績およびセグメント業績

コメント

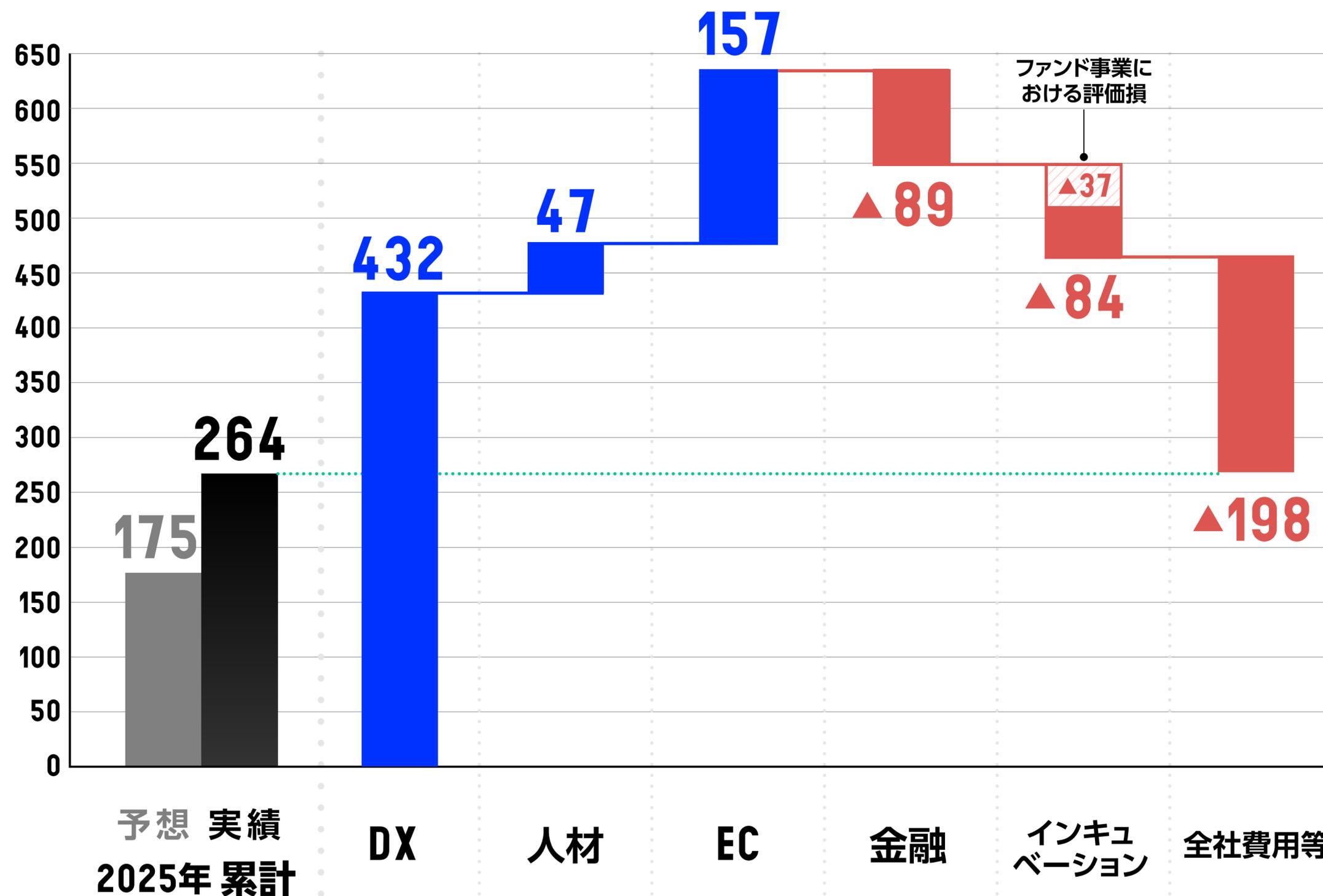
概ね計画通りに進捗

通期での目標達成を目指し事業構造改革を継続

DX事業・人材事業においては組織再編にも注力

2Q累計 営業利益

単位：百万円



※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績
 ※連結業績・セグメント業績は百万円以下切り捨て

CONTENTS

— エグゼクティブサマリー

— スカラグループについて

— 連結 業績報告

→ セグメント別 業績報告

— トピックス

セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

コメント

スカラコミュニケーションズにおける大型案件の納品完了を筆頭に好調

事業構造改革の影響を受けて来期に向けた組織再編にも注力

DX事業 単位：百万円

売上

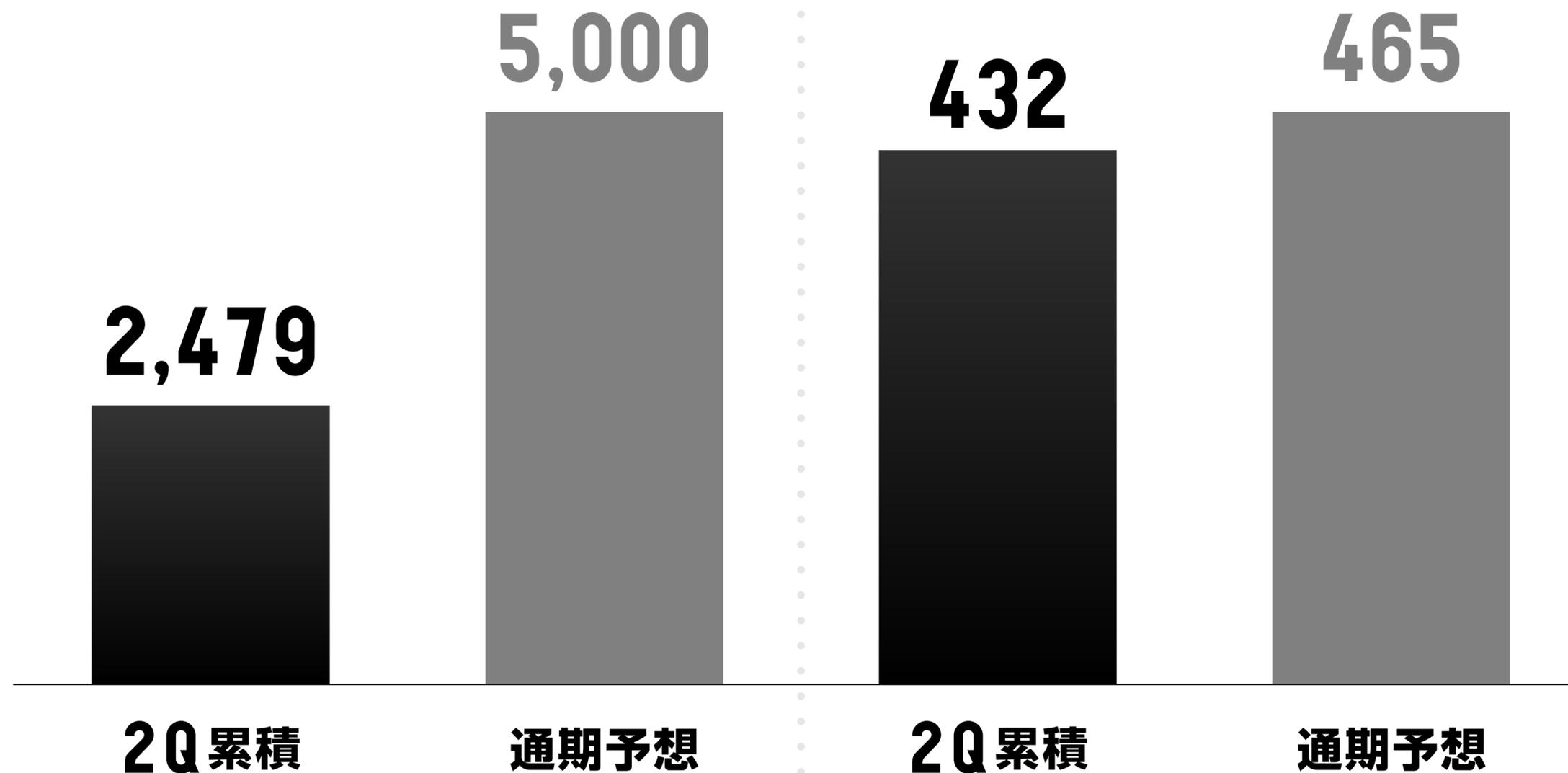
進捗率

49.6%

営利

進捗率

93.0%



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

コメント

イベント事業は好調

人材不足による紹介事業の収益への影響を軽減すべく採用に注力

営業利益は計画通りに推移

人材事業 単位：百万円

売上

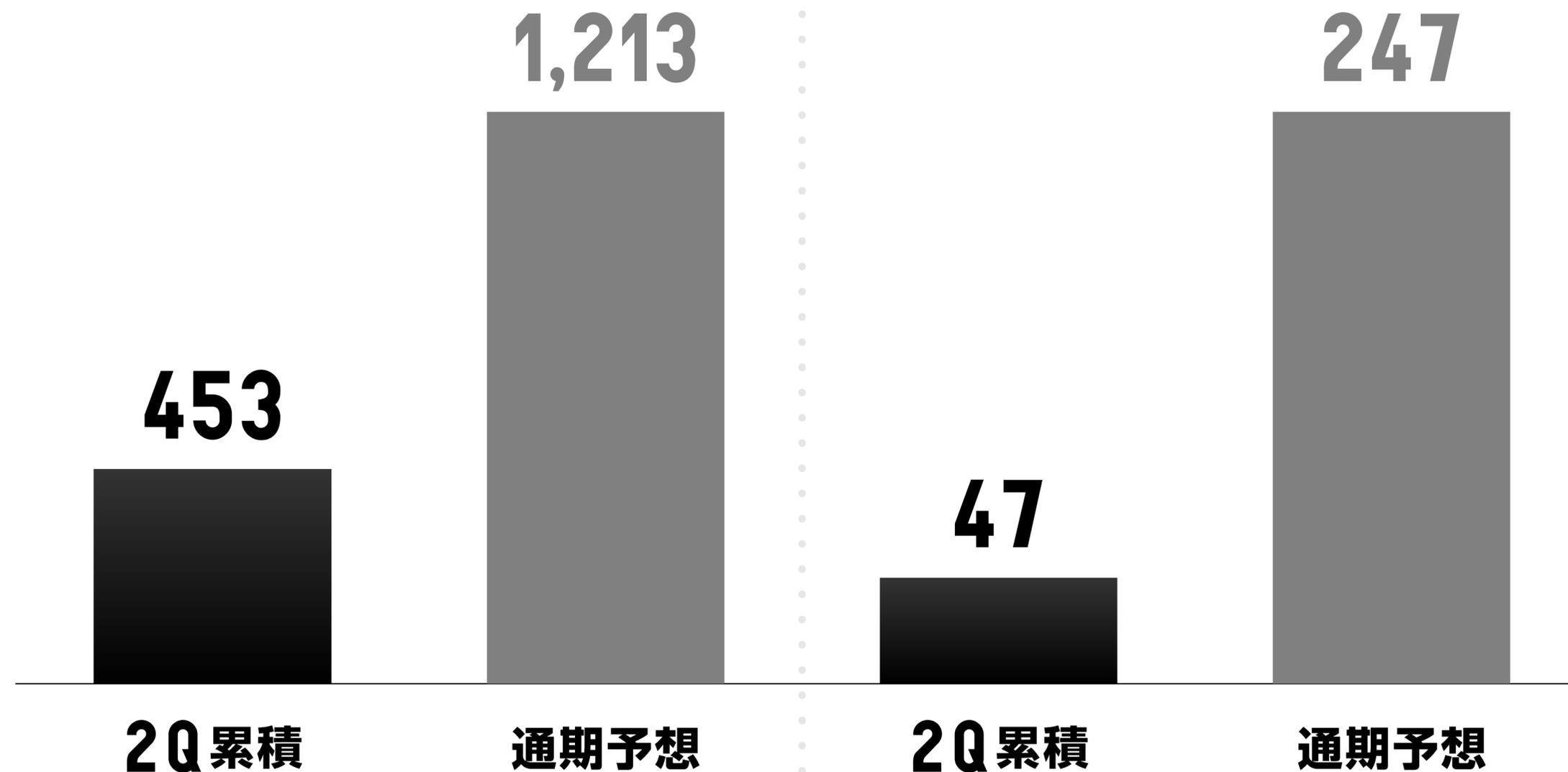
進捗率

37.4%

営業

進捗率

19.2%



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

コメント

各種タイトルが順調に推移

海外直販サービスの開始により
さらなる利益率向上を図る

EC事業

単位：百万円

売上

進捗率

44.9%

営利

進捗率

41.8%

1,128

2,515

157

377

2Q累積

通期予想

2Q累積

通期予想

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの
第2四半期累計実績

セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

コメント

新商品の販売は想定を上回るペース

保有契約の平均年齢引き下げによる利益率改善を目指し、さらなる新規契約件数増加を図る

3Q中には旧商品の契約更新を停止予定

金融事業

単位：百万円

売上

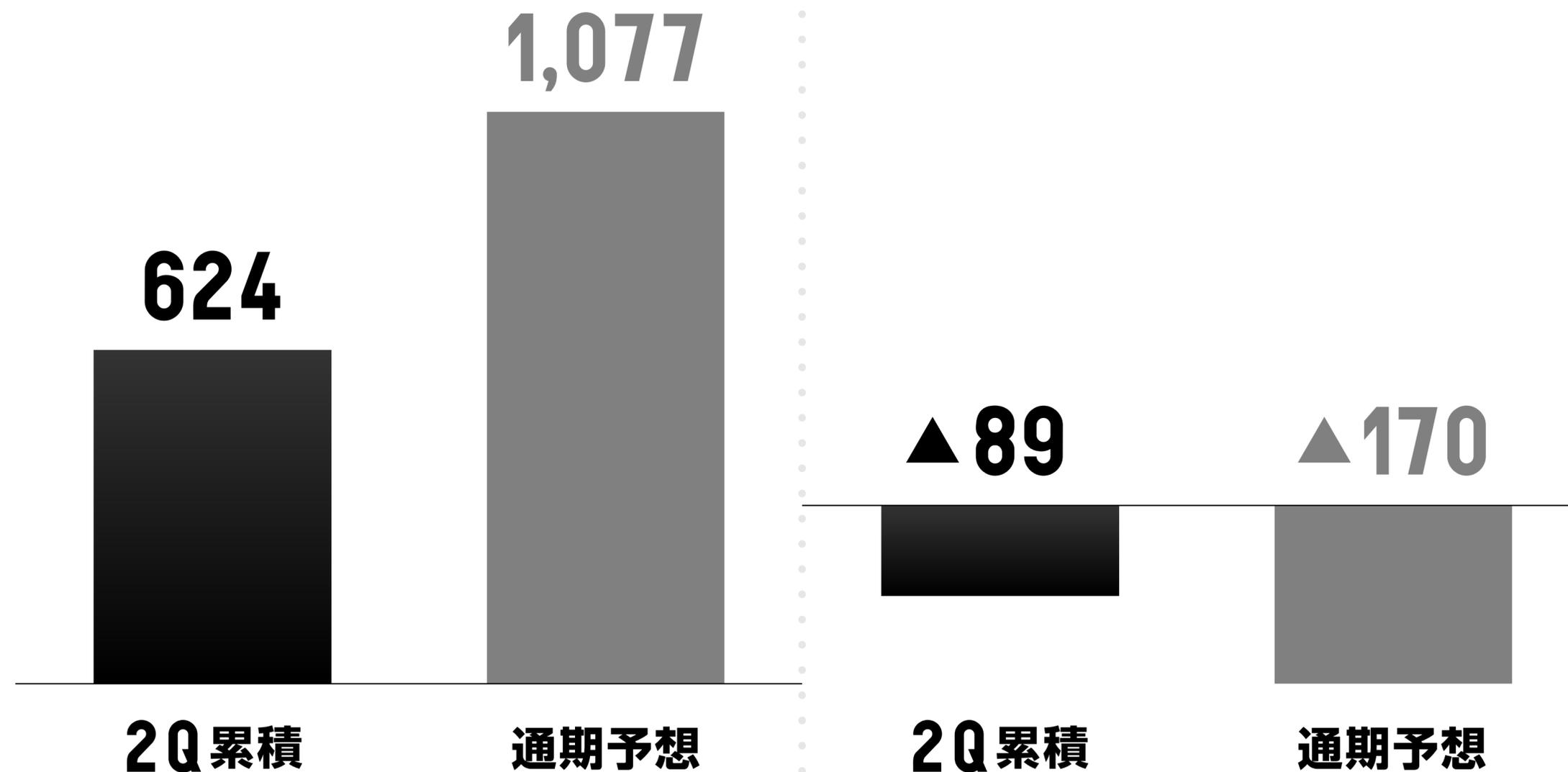
進捗率

58.0%

営利

進捗率

—



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

コメント

ソーシャル・エックスの案件受注が好調

他赤字事業はコストコントロールにより赤字幅を縮小

インキュベーション事業

単位：百万円

売上

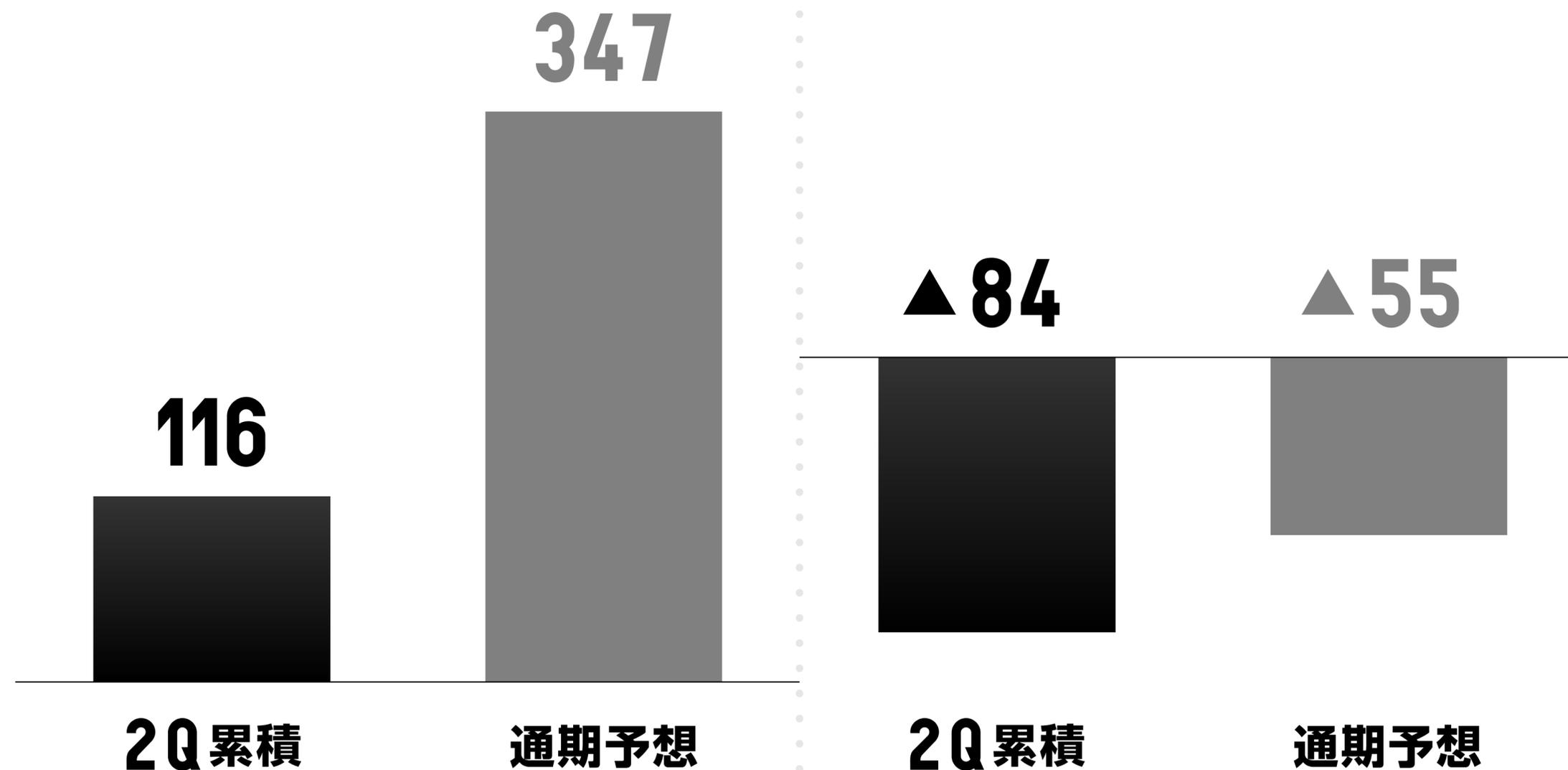
進捗率

33.6%

営利

進捗率

—



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

セグメント別業績報告 売上収益

単位：百万円

※売上収益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

事業	今期 2Q	前期 2Q	前年同期差	前年同期比
DX	2,479	2,264	215	9.5%
人材	453	487	▲ 33	▲ 6.8%
EC	1,128	1,138	▲ 9	▲ 0.9%
金融	624	606	17	2.9%
インキュベーション	116	123	▲ 7	▲ 6.0%

セグメント別業績報告 営業利益 本社費配賦後

単位：百万円

※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

事業	今期 2Q	前期 2Q	前年同期差	前年同期比
DX	432	▲ 106	538	—
人材	47	129	▲ 81	▲ 63.4%
EC	157	147	9	6.5%
金融	▲ 89	▲ 126	36	—
インキュベーション	▲ 84	▲ 127	42	—

セグメント別業績報告 営業利益 本社費配賦前

単位：百万円

※営業利益の数値は、IFRSベースの第2四半期累計実績

事業	今期 2Q	前期 2Q	前年同期差	前年同期比
DX	528	214	313	146.1%
人材	87	148	▲ 60	▲ 41.0%
EC	183	179	4	2.4%
金融	▲ 71	▲ 108	36	—
インキュベーション	▲ 84	▲ 124	39	—

CONTENTS

— エグゼクティブサマリー

— スカラグループについて

— 連結 業績報告

— セグメント別 業績報告

→ **トピックス**

在住証明をオンラインで手続きできる機能を『デジタル認証アプリ』を利用して提供開始



- 本システムは、利用者登録・施設予約・実際利用・支払いまでを全てオンライン上で行うことで、利用者の利便性向上と、自治体職員や施設管理者の負荷軽減に貢献
- 個人情報やデジタル認証アプリ内で一元管理し、情報入力不要、不正利用防止強化を実現

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2025/01-portalx/>

日本体育大学スポーツマネジメント学部より業務委託を受け授業のサポートを開始



- 同学部の2年生を対象に職場体験・職場見学などを体験してもらう授業を実施
- スポーツビジネス現場実習の事務局として、スムーズな実習実施と学生のキャリアサポートに貢献することを目的としている

詳細はこちら <https://scalagr.jp/news/2024/11-nittaidai/>

ECサイト「カードショップ -遊々亭-」が海外直販サービスを開始

- 現在「遊々亭」ではアクセスの約3割、売上の約2割を海外ユーザーが占めており、今後も規模拡大が見込まれる
- 当海外直販サービスにより、海外ユーザーは転送サービスを介さず商品がより早く届くようになり、さらなるUXの向上が実現する

TOKYO SUTEAM協定事業「MUFG推しごとクラウドファンディング」 開催とスタートアップ企業募集

多様な主体によるスタートアップ支援展開事業
TOKYO SUTEAM

SOCIALX × MUFG 三菱UFJ銀行 × MUFG 三菱UFJ信託銀行

「ソーシャル X アクセラレーション powered by MUFG」
参加スタートアップを募集

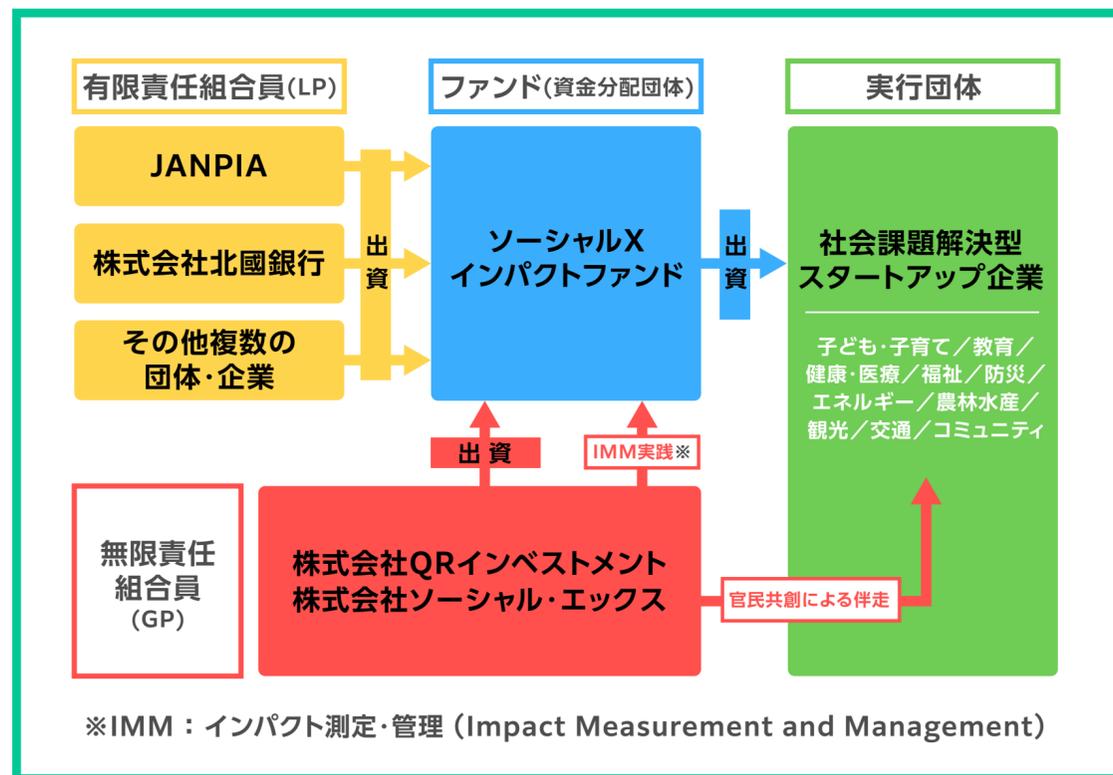
SOCIALX ACCELERATION

- 三菱UFJ銀行の連携企業として、同じく連携企業である三菱UFJ信託銀行と共に、インパクトスタートアップと大企業による官民共創を寄付で加速させる新たなアプローチの構築を目指す
- 事業ブラッシュアップの支援、自治体とのマッチング、PoC伴走支援などで貢献

詳細はこちら <https://scalagr.jp/news/2024/11-slx-2/>

SOCIALX トピックス

一般社団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が資金分配団体として選定する「ソーシャルXインパクトファンド」の展開が開始



- 株式会社QRインベストメントと共同運営する、当ファンドが一般社団法人JANPIAにより休眠預金を活用した官民共創型ファンドの資金分配団体に選定された
- 自治体だけでは解決が難しい課題を社会課題解決型スタートアップ企業と自治体の共創支援により解決に繋げ、伴走支援による事業の成長を図る

詳細はこちら

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000041869.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000031.000041869.html)



決算説明資料 2Q FY2025

本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき下さい。

本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません。

本資料は監査法人による会計監査を受けておりません。